



ふくだ
Fukuda

滑川町立福田小学校 学校だより

冬休み号 令和 4年12月23日

電話 0493-56-2651 FAX 0493-56-2643

けじめとしての大掃除

便所掃除

濱口國雄

扉をあけます
頭のしんまでくさくなります
まともに見ることが出来ませ
ん
神経までしびれる悲しいよご
しかたです
澄んだ夜明けの空気もくさく
します
掃除がいつべんにいやになりま
す(中略)

かわいた糞はなかなかとれま
せん
たわしに砂をつけます
手を突き入れて磨きます
汚水が顔にかかります
くちびるにもつきます
そんな事にかまっていられま
せん
ゴリゴリ美しくするのが目的
です(中略)

朝の光が便器に反射します
クレゾール液が 糞壺の中か
ら七色の光で照らします

便所を美しくする娘は
美しい子供をうむ といった母
を思い出します
僕は男です
美しい妻に会えるかも知れま
せん

年末年始には、日本ならではの伝統的な行事や風習があります。大掃除やもちつき、門松、おせち料理、初詣、皆さんが心待ちにしているお年玉もその一つですね。

今日は、「大掃除」についてお話したいと思います。学校でも「ワックスがけ」が実施されましたが、皆さんのお家でも普段はできない細かいところまでお掃除する計画があるのではないのでしょうか。私の実家でも年末になると厳格な父の号令のもと、二日がかりの大掃除が行われました。私の実家はほとんどが和室でした。はたきをかけ埃を落とす、ごみや埃を掃く、雑巾がけをする、障子を張り替えるなどの「大掃除」が思い出されます。特に記憶に残っているのが、窓ガラスの水拭きです。当時、実家では上水道も通じていましたが、ポンプでくみ上げた地下水も一部利用していました。いわゆる井戸水ですね。井戸水は水温が一年を通して一定なので、冬は温かく夏は冷たく感じるのです。そのため、雑巾を濯ぎ絞るときにはそれほど苦を感じないのですが、ガラスを拭いているうちにどんどん指先が冷たくなっていくのです。そのため作業時間を長くすると指先がかじかんでしまい、井戸水で手指を暖めようとすると作業時間が短くなるのでなかなか作業が終わらないということになり、いつも困ってしまいました。夢中になって大掃除をやり終えたあとには、「やっと終わった」という安堵感とともにすがすがしい気持ちが生まれたことも覚えています。

私は「大掃除」について改めて調べてみました。「大掃除」は「煤払い」に由来するといわれています。煤といっても皆さんはピンとこないと思います。昔は、囲炉裏やかまどがあったので家の中が煤だらけでした。その煤を払うことがすなわち掃除をするということだったのです。ちなみに「払う」には「清める」という意味があります。煤払いは、12月13日に行われました。結婚式以外の全てのことに縁起が良いとされた日が旧暦の12月13日だったからです。また、煤払いは単なる掃除ではなく新年を司る年神様を迎えるための神聖な清めの儀式でした。だから縁起の良い日＝吉日に行われたんですね。今でも大事なお客様を迎えるときには家の掃除を念入りにしますよね。

また、大掃除は、けじめのひとつと考えられてきました。昔から、「ハレとケ」という考え方があります。ハレは正月や祭りのような非日常、ケは仕事や普段の生活などの日常のことです。ケの日常の生活で疲れた気持ち(ケガレ)を、非日常のハレの日に気晴らしすることで元の気持ちに戻し「元気」になる.....を繰り返しながら暮らしてきました。こうしてけじめをつけながら日本人は生きてきました。

煤払いに清めの意味があるように、大掃除には様々なものを払ってけじめをつける意味があります。このため、すっきり気持ちよく新年を迎えられるのだと思います。昔から、掃除をすると良いことがあるといわれていますが、その最たるものが大掃除であり、隅々まできれいにすると、年神様がたくさんの幸せを授けてくださるといわれています。

いかがだったでしょうか。大掃除一つにしても深い意味があるのですね。みなさんも年末年始の行事や風習について調べてみてはいかがでしょうか。きっと年末年始を有意義に過ごすことができますよ。